



耐震補強工事の説明を受ける参加者ら

耐震住宅の見学会 区

補強工事や費用など説明 東

民間の建設会社でつくる「福岡市耐震推進協議会」（中央区）が4日、東区で耐震住宅の見学会を開いた。熊本地震で住宅の耐震化に注目が集まる中、約30組50人が訪れ、壁や基礎の補強方法、費用などを質問していた。見学会は5日も開かれる。

同協議会の白木秀一会長によると、木造戸

建て住宅の耐震化費用は平均150万〜200万円程度、日常生活を送りながら工事可能という。同協議会には熊本地震後の1カ月で、耐震診断の申し込みが例年の1年分の250件以上寄せられたという。

会場を訪れた城南区南片江の阿美吉孝明さん（78）は先月、築34年になる自宅の耐震診断を受けたばかり。「福岡沖玄界地震では壁にひびが入った。熊本地震は入ることは思えない。家族の命を守り、近隣に迷惑を掛けることがないよう、できる努力はしておきたい」と話した。

5日は東区三西3の30の2で、午前10時〜午後4時（駐車場あり）。耐震診断（3000円）の申し込みは同協議会092・724・7744へ。

【林由紀子】